

学年	ページ	開講科目
1年	9	国際文化
1年	35～36	Reading & Vocabulary II
1年	43～44	Grammar & Composition II
1年	51	エアラインサービス
1年	55	基礎ゼミ
2年	77	Essay Writing
2年	83	Advanced Reading

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-0-HCU-03					
		●			●						
科目名	国際文化				単位認定者	スミス アンソニー		試験(筆記)	60	%	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	2 単位	評価の方法	授業内課題	20	%
					授業形態	講義	授業時間数		30 時間	受講態度	20
				授業回数			15 回				
授業の概要	国際社会が身近になる中で、異なる文化背景を有する他者との共存、それに伴う異文化理解を求められている。英語を専門として学修する者にとっては取り分け、英語圏文化背景への知識が必要となる。本講義では、必須の教養と従来から言われてきた、「ギリシャ・ローマ神話、聖書、シェイクスピア」の三本の柱を建て、西洋社会、英語圏文化へのアプローチを試みる。										
到達目標	本講義では、英語圏社会との関わりにおいて、必須とされる「教養」の基本を知ること、言語への理解を含めて、文化理解を深めることを目標とする。										
学修者への期待等	受講者間でのディスカッションやコメントシートなど、授業の内容に関して自身の意見をアウトプットする時間を設ける。アクティブラーニングを期待する。										
回	授業計画					準備学修					
1	ギリシャ・ローマ神話への導入										
2	創世神話 ① ガイアとウラノスを中心に					資料精読 (概ね30分)					
3	創世神話 ② クロノスとレアを中心に					資料精読 (概ね30分)					
4	ダイダロスとイカロス					資料精読 (概ね30分)					
5	オルベウスとエウリュディケ					資料精読 (概ね30分)					
6	ペルセウスとメドゥーサ					資料精読 (概ね30分)					
7	テセウスとミノタウルス					資料精読 (概ね30分)					
8	ギリシャ・ローマ神話の翻案、パロディーなど					資料精読 (概ね30分)					
9	キリスト教、ユダヤ教、イスラム教の世界					資料精読 (概ね30分)					
10	旧約聖書 創世記から出エジプトまで					資料精読 (概ね30分)					
11	新約聖書 マタイとマルコの福音書について					資料精読 (概ね30分)					
12	新約聖書 ルカとヨハネの福音書について					資料精読 (概ね30分)					
13	イスラム教の聖典に描かれている「ノアの箱舟」					資料精読 (概ね30分)					
14	シェイクスピアの四大悲劇 ① ハムレットとオセロ					資料精読 (概ね30分)					
15	シェイクスピアの四大悲劇 ② マクベスとリア王					資料精読 (概ね30分)					
教科書	講義にてプリントを配布する										
参考文献	講義中に適宜指示する。										
備考	状況により遠隔授業に変更する場合がある。										
※以下は該当者のみ記載する。											
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)											

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-06					
	●	●									
科目名	Reading & Vocabulary II				単位認定者	石田 陽子 (Bクラス)		評価の方法	試験(筆記)	50	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	2 単位		授業内課題等	30	%
					授業形態	演習	授業時間数		60 時間	受講態度	20
							授業回数		30 回		
授業の概要	「Reading & Vocabulary I」で学修した内容を踏まえ、辞書を正しく活用しながら、専門的な内容を含んだやや高度な英文の読解能力を養成することを目的とする。科学記事や、新聞記事など、ジャンルごとの文体や構成を理解し、そこに現れる専門用語や省略表現などを学び、継続的に語彙量を増やす。具体的な方法としては、スキミング、スキヤニング、スラッシュリーディングなどの方法を用いながら意味のかたまりを捉え、長い文章の中から必要な情報を素早く的確に把握できる能力を培う。										
到達目標	1. やや高度な英語の長文を、その文章が書かれた背景や状況を考慮しながら、読解できるようになる。 2. 辞書の正しい活用法を知り、様々な領域の語彙を習得する。 3. 授業でのアクティビティを通して、実用的な英語運用能力の基礎を身に付ける。										
学修者への期待等	課された準備学修を、辞書を使いながら丁寧に行ってください。最初は時間がかかるかもしれませんが、英語読解力は徐々に向上します。授業には必ず英和辞書を携帯してください(スマートフォンの辞書機能は、長文の精読の学修には充分ではありません。)										
回	授業計画					準備学修					
1	本授業の進め方について、予習、復習、評価について Unit 1 A Lesson from Bhutan ①Key Sentence Patterns ②本文の精読 ③Comprehension Questions					辞書を使って、テキストの本文の英文を和訳する。 Exercises ③を解答する(授業計画に対応する予習) (概ね1時間)					
2	Unit 1 A Lesson from Bhutan 本文の復習 ④Guided Summary ⑤Dialogue ⑥Oral Composition ⑦ Essential Basic Sentence Patterns ⑧Phrases Reading 小テスト					本文の英文を復習する。Exercises ④～⑧を解答する(授業計画に対応する予習) (概ね1時間)					
3	Unit 2 The Story of Mothen's Day ①Key Sentence Patterns ②本文の精読 ③Comprehension Questions					辞書を使って、テキストの本文の英文を和訳する。 Exercises ③を解答する(授業計画に対応する予習) (概ね1時間)					
4	Unit 2 The Story of Mothen's Day 本文の復習 ④Guided Summary ⑤Dialogue ⑥Oral Composition ⑦ Essential Basic Sentence Patterns ⑧Phrases Reading 小テスト					本文の英文を復習する。Exercises ④～⑧を解答する(授業計画に対応する予習) (概ね1時間)					
5	Unit 3 George Morikami's Dream ①Key Sentence Patterns ②本文の精読 ③Comprehension Questions					辞書を使って、テキストの本文の英文を和訳する。 Exercises ③を解答する(授業計画に対応する予習) (概ね1時間)					
6	Unit 3 George Morikami's Dream 本文の復習 ④Guided Summary ⑤Dialogue ⑥Oral Composition ⑦ Essential Basic Sentence Patterns ⑧Phrases Reading 小テスト					本文の英文を復習する。Exercises ④～⑧を解答する(授業計画に対応する予習) (概ね1時間)					
7	Unit 4 Pizza an International Favorite ①Key Sentence Patterns ②本文の精読 ③Comprehension Questions					辞書を使って、テキストの本文の英文を和訳する。 Exercises ③を解答する(授業計画に対応する予習) (概ね1時間)					
8	Unit 4 Pizza an International Favorite本文の復習 ④Guided Summary ⑤Dialogue ⑥Oral Composition ⑦ Essential Basic Sentence Patterns ⑧Phrases Reading 小テスト					本文の英文を復習する。Exercises ④～⑧を解答する(授業計画に対応する予習) (概ね1時間)					
9	Unit 5 The Story of the Red Rose ①Key Sentence Patterns ②本文の精読 ③Comprehension Questions					辞書を使って、テキストの本文の英文を和訳する。 Exercises ③を解答する(授業計画に対応する予習) (概ね1時間)					
10	Unit 5 The Story of the Red Rose 本文の復習 ④Guided Summary ⑤Dialogue ⑥Oral Composition ⑦ Essential Basic Sentence Patterns ⑧Phrases Reading 小テスト					本文の英文を復習する。Exercises ④～⑧を解答する(授業計画に対応する予習) (概ね1時間)					
11	Unit 6 Madame Butterfly and Intercultural Marriages ①Key Sentence Patterns ②本文の精読 ③Comprehension Questions					辞書を使って、テキストの本文の英文を和訳する。 Exercises ③を解答する(授業計画に対応する予習) (概ね1時間)					
12	Unit 6 Madame Butterfly and Intercultural Marriages ④Guided Summary ⑤Dialogue ⑥Oral Composition ⑦ Essential Basic Sentence Patterns ⑧Phrases Reading 小テスト					本文の英文を復習する。Exercises ④～⑧を解答する(授業計画に対応する予習) (概ね1時間)					
13	Unit 7 A Siesta Makes You Smarter! ①Key Sentence Patterns ②本文の精読 ③Comprehension Question					辞書を使って、テキストの本文の英文を和訳する。 Exercises ③を解答する(授業計画に対応する予習) (概ね1時間)					

回	授業計画	準備学修
14	Unit7 A Siesta Makes You Smarter! ④Guided Summary ⑤Dialogue ⑥Oral Composition ⑦ Essential Basic Sentence Patterns ⑧Phrases Reading 小テスト	本文の英文を復習する。 Exercises ④～⑧を解答する（授業計画に対応する予習） （概ね1時間）
15	既習範囲の総まとめと確認	既習範囲の復習（概ね1時間）
16	Unit 8 Unwanted Pets and Eco-Disasters ①Key Sentence Patterns ②本文の精読 ③Comprehension Questions	辞書を使って、テキストの本文の英文を和訳する。 Exercises ③を解答する（授業計画に対応する予習） （概ね1時間）
17	Unit8 Unwanted Pets and Eco-Disasters ④Guided Summary ⑤Dialogue ⑥Oral Composition ⑦ Essential Basic Sentence Patterns ⑧Phrases Reading 小テスト	本文の英文を復習する。 Exercises ④～⑧を解答する（授業計画に対応する予習） （概ね1時間）
18	Unit 9 Going Green ①Key Sentence Patterns ②本文の精読 ③Comprehension Questions	辞書を使って、テキストの本文の英文を和訳する。 Exercises ③を解答する（授業計画に対応する予習） （概ね1時間）
19	Unit9 Going Green ④Guided Summary ⑤Dialogue ⑥Oral Composition ⑦ Essential Basic Sentence Patterns ⑧Phrases Reading 小テスト	本文の英文を復習する。 Exercises ④～⑧を解答する（授業計画に対応する予習） （概ね1時間）
20	Unit 10 Laughter Keeps you Healthy ①Key Sentence Patters ②本文の精読 ③Comprehension Questions	辞書を使って、テキストの本文の英文を和訳する。 Exercises ③を解答する（授業計画に対応する予習） （概ね1時間）
21	Unit 10 Laughter Keeps you Healthy ④Guided Summary ⑤Dialogue ⑥Oral Composition ⑦ Essential Basic Sentence Patterns ⑧Phrases Reading 小テスト	本文の英文を復習する。 Exercises ④～⑧を解答する（授業計画に対応する予習） （概ね1時間）
22	Unit 11 A Lesson from the Nagasaki Islands ①Key Sentence Patterns ②本文の精読 ③Comprehension Questions	辞書を使って、テキストの本文の英文を和訳する。 Exercises ③を解答する（授業計画に対応する予習） （概ね1時間）
23	Unit 11 A Lesson from the Nagasaki Islands ④Guided Summary ⑤Dialogue ⑥Oral Composition ⑦ Essential Basic Sentence Patterns ⑧Phrases Reading 小テスト	本文の英文を復習する。 Exercises ④～⑧を解答する（授業計画に対応する予習） （概ね1時間）
24	Unit 12 A Lesson from the Olympics ①Key Sentence Patters ②本文の精読 ③Comprehension Questions	辞書を使って、テキストの本文の英文を和訳する。 Exercises ③を解答する（授業計画に対応する予習） （概ね1時間）
25	Unit12 A Lesson from the Olympic ④Guided Summary ⑤Dialogue ⑥Oral Composition ⑦ Essential Basic Sentence Patterns ⑧Phrases Reading 小テスト	本文の英文を復習する。 Exercises ④～⑧を解答する（授業計画に対応する予習） （概ね1時間）
26	Unit 13 Terry Fox: The Marathon of Hope ①Key Sentence Patters ②本文の精読 ③Comprehension Questions	辞書を使って、テキストの本文の英文を和訳する。 Exercises ③を解答する（授業計画に対応する予習） （概ね1時間）
27	Unit 13 Terry Fox: The Marathon of Hope ④Guided Summary ⑤Dialogue ⑥Oral Composition ⑦ Essential Basic Sentence Patterns ⑧Phrases Reading 小テスト	本文の英文を復習する。 Exercises ④～⑧を解答する（授業計画に対応する予習） （概ね1時間）
28	Unit 14 Hachiko and Balto: Two Famous Dogs ①Key Sentence Patterns ②本文の精読 ③Comprehension Questions	辞書を使って、テキストの本文の英文を和訳する。 Exercises ③を解答する（授業計画に対応する予習） （概ね1時間）
29	Unit 14 Hachiko and Balto: Two Famous Dogs ④Guided Summary ⑤Dialogue ⑥Oral Composition ⑦ Essential Basic Sentence Patterns ⑧Phrases Reading 小テスト	本文の英文を復習する。 Exercises ④～⑧を解答する（授業計画に対応する予習） （概ね1時間）
30	既習範囲の総まとめと確認	既習範囲の復習（概ね1時間）
教科書	「Enjoyable Reading 100 Key Sentence Pattern」 Joan McConnell 成美堂	
参考文献	授業時に適宜紹介する。	
備考	内容の進捗によってシラバスの内容を変更することがあります。状況により、遠隔授業になる場合がある。	

※以下は該当者のみ記載する。

**実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)**

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-08				
	●	●								
科目名	Grammar & Composition II				単位認定者	尾形 まゆみ (Bクラス)		試験(筆記)	60 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	2 単位	評価の方法	授業内課題等	20 %
							授業時間数		60 時間	受講態度
				授業形態	演習	授業回数			30 回	
授業の概要	「Grammar & Composition I」で学修した内容を踏まえ、より高次の文法事項についての的確に理解し、それを応用した文章を産出できるようになることを目的とする。英語文章の展開の仕方、段落構造について理解を深めていく。特に、文章全体の内容の理解や論理の組み立てに最も重要となるディスコースマーカー（Therefore、However、In addition等）に重点を置いて学習する。各段落内部の構造（トピックセンテンス、例証、結論）の構造も理解し、段落単位で英作文を作成できるようになることを目指す。									
到達目標	英文法を理解し、コミュニケーションに活用することができる。 伝えたいこと、説明したいことを平易な英文で表現し、段落単位にまとめることができる。									
学修者への期待等	授業には英和辞典を持参すること（スマートフォンの辞書、翻訳機能では学修には足りません。辞書は必携です。）指定された予習・復習を行い授業に臨むこと。英語力向上のためには、授業外の学修を確実にを行うことが欠かせません。									
回	授業計画				準備学修					
1	授業の概要確認。テキストの指示。予習・復習の指示。前期内容のReview.									
2	Factbook: 不定詞（1）名詞的用法 形容詞的用法 解説と演習				(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)					
3	Factbook: 不定詞（2）副詞的用法 否定 知覚動詞・使役動詞 解説と演習				(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)					
4	Factbook: 不定詞（3）SV0+toV 重要表現 完了形の不定詞 解説と演習				(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)					
5	不定詞に関連する演習問題									
6	Factbook:不定詞Plus 解説と演習 暗唱例文小テスト(不定詞)				(予習)例文小テストのための準備(概ね30分)					
7	Factbook: 動名詞（1）主語・目的語・説明語句としての動名詞 不定詞と動名詞 解説と演習				(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)					
8	Factbook: 動名詞（2）動名詞の重要表現 解説と演習				(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)					
9	動名詞に関連する演習問題 暗唱例文小テスト(動名詞)				(予習)例文小テストのための準備(概ね30分)					
10	Writing 演習① 不定詞・動名詞を用いた英作文									
11	中間まとめ: Factbookの学修範囲の理解度を小テストにて確認する。				(予習)指定範囲について、十分に学修する。(概ね2時間程度)					
12	小テストのreview. Factbook: Option ③話法 解説と演習				(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)					
13	話法に関連する演習問題 暗唱例文小テスト(話法)				(予習)例文小テストのための準備(概ね30分)					
14	Factbook: 比較（1）原級 比較級 解説と演習				(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)					

回	授業計画	準備学修
15	Factbook: 比較 (2) 最上級 解説と演習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)
16	Factbook: 比較Plus さまざまな表現	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)
17	比較に関連した問題演習 暗唱例文小テスト (比較)	(予習) 例文小テストのための準備 (概ね30分)
18	Factbook: 分詞 (1) 名詞修飾 解説と演習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)
19	Factbook: 分詞 (1) SVC/SVOC 解説と演習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)
20	Factbook: 分詞 (2) 動詞句の修飾 解説と演習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)
21	Factbook: 分詞 Plus 付帯状況 解説と演習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)
22	分詞に関連する演習問題 暗唱例文小テスト (分詞)	(予習) 例文小テストのための準備 (概ね30分)
23	Writing 演習② 分詞を用いた英作文	
24	Factbook:関係詞 (1) who / which / whose 主格・目的格について、解説と演習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)
25	Factbook:関係詞 (1) who / which / whose 所有格について、解説と演習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)
26	Factbook:関係詞 (2) that / 省略 解説と演習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)
27	Factbook:関係詞 (3) 関係副詞 非制限用法 解説と演習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)
28	関係詞に関連する演習問題 暗唱例文小テスト (関係詞)	(予習) 例文小テストのための準備 (概ね30分)
29	学修成果の確認 (TOEIC IP受験)	(予習) TOEICの問題形式を確認し、必要な準備を行う。(概ね1時間程度)
30	総復習: ここまで学修した範囲の復習を行う。	(予習) 2冊の教科書を復習し、疑問点を抽出しておく (概ね2時間程度)
<b>教科書</b>	「総合英語FACTBOOK:Standard」 桐原書店編集部編 桐原書店	
<b>参考文献</b>	「総合英語FACTBOOK これからの英文法」 大西隼人、ポールマクベイ 桐原書店 その他、授業時に適宜紹介する。	
<b>備考</b>	上記以外の予習・復習については、授業時に説明する。状況により、遠隔授業に変更する場合がある。受講者の理解度等により順番や重点の置き方を変更する場合がある。	

※以下は該当者のみ記載する。

**実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)**

--

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力
			●		●

科目ナンバリング
GE-3-RCO-05

科目名	エアラインサービス				単位認定者		評価の方法	試験(レポート)	40	%	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	1年	開講時期	通年	単位数		2 単位	授業内課題	40	%
						授業時間数		30 時間	受講態度	20	%
				授業形態	講義	授業回数		15 回			
授業の概要	<p>本科目では、接客やサービス業界で求められるおもてなしの基本を学び、言葉遣いや立ち居振る舞いなど、社会人としてふさわしい行動を理解し、実践できるようになることを目標とする。          グランドスタッフ、キャビンアテンダントの業務など、エアライン業界で必要な知識やスキルを身につける。企業が求めるサービスマインドやコミュニケーション力を涵養する。</p>										
到達目標	<p>◇社会人にふさわしい行動を理解し、自ら考え行動することができる。          (言葉遣い/立ち居振る舞い/電話応対など)          ◇社会人としての基本的な規律を順守できる。          ◇「接客」の大切さを考え、日常生活でも接客を発揮することができる。          ◇自己理解を深め、自信を持って自己PRをすることができる。          ◇客室乗務員、グランドスタッフの仕事を理解し、職種研究を深めることができる。</p>										
学修者への期待等	<p>◇積極的な授業への参加          ◇学修内容を各自で咀嚼して、自己理解を深める。          ◇不明点について曖昧にせず、質問を通じて明確にする。</p>										
回	授業計画					準備学修					
1	今年度は開講しません。										
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
教科書											
参考文献											
備考											

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング		
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-4-ESE-02		
	●	●	●					
科目名	基礎ゼミ				単位認定者	備考参照		試験 (レポート) 50 % 授業内課題等 30 % 受講態度 20 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	1 単位	
					授業形態	演習	授業時間数	
							授業回数	
授業の概要	<p>初学者が大学教育を学ぶにあたって必要とされる基礎力を養う。2年間の短期大学での学びを有意義なものとするため、大学生活への導入、大学教育の意義や目的を理解し、文章の読み方・書き方（文章表現力）など、基礎的なスキルを身につけ、大学生活の様々な場面で活用できるようになることを目標とする。</p> <p>また、批判的思考力を養い、グループディスカッションやプレゼンテーションを通して、コミュニケーションスキルの向上を目指す。</p>							
到達目標	<p>学修についての自己管理ができ、計画的な学修を実行できるようになる。</p> <p>仲間を信頼し、協力して学修を遂行できるようになる。</p>							
学修者への期待等	<p>授業は合同実施の回とゼミ単位で実施の回とがあるため、掲示等をよく確認の上、授業に臨むこと。また、グループ活動では、他人任せにせず、皆で協力し、積極的に取り組むこと。</p>							
回	授業計画				準備学修		担当	
1	オンライン教材の利用について（LMS、Xreading、Quizlet、オンライン英会話、Zoomなど）※ノートパソコンを持参する。				（復習）オンライン教材のシステムに慣れ、利用する。（概ね1時間程度）		スミス・ジョーンズ・相田・小松	
2	学修環境（図書館ガイド：図書館活用法、文献検索）と外部語学試験受験のススメ（資格奨学金）						スミス・相田・小松	
3	先輩から学ぶ（2年生の体験談発表、質疑応答）				（予習）2年生への質問事項を考えておいてください。（概ね20分程度）		スミス・小松	
4	知的好奇心を高めるために①（仙台市の文化施設研修）（仙台文学館）				（予習）研修先の企画内容を理解しておいてください。（概ね20分程度）		スミス・小松	
5	プレゼンテーション①テーマ設定、ブレインストーミング、相手に伝えるプレゼンテーションの工夫				（予習）プレゼンテーションの練習をしてください。（概ね30分程度）		スミス・ジョーンズ・相田・小松	
6	知的好奇心を高めるために②（仙台市の文化施設研修）（仙台文学館）				（復習）文化施設研修から学んだことをまとめてください。（概ね30分程度）		スミス・ジョーンズ・相田・小松	
7	プレゼンテーション②内容の推敲と発表の準備、ゼミ教員からの助言				（復習）プレゼンテーションに必要な準備を進めてください。（概ね60分程度）		スミス・小松	
8	体と心の健康を保つために（保健室、学生相談室）				（復習）講話内容から考えたことをまとめてください。（概ね20分程度）		保健室・学生相談室・スミス・小松	
9	プレゼンテーション③ゼミ内発表会				（復習）ゼミメンバーへの評価をまとめてください。		スミス・小松	
10	ダルク講話						スミス・小松・ダルク	
11	プレゼンテーション④合同発表会 SEPA説明（20mins スミス先生より）				（復習）全体プレゼンテーションの評価をまとめてください。		スミス・小松	
12	音読劇				（予習）ゲストスピーカーへの質問を考えてきてください。（概ね30分程度）		スミス・小松	
13	学外学修①：見学地の訪問と現地学修（仙台ロイヤルパークホテル研修）				（予習）見学先について調べておいてください。（概ね30分程度）		スミス・ジョーンズ・相田・小松	
14	学外学修②：見学後の考察で（仙台ロイヤルパークホテル研修）				（復習）学んだことをまとめてください。（概ね1時間程度）		スミス・ジョーンズ・相田・小松	
15	前期の総括。夏季休暇の過ごし方。総合演習Ⅰの募集。				（予習）夏季休暇中の予定を考えておいてください。（概ね30分程度）		スミス・ジョーンズ・相田・小松	
教科書	使用しない。							
参考文献	授業時に、適宜紹介する。							
備考	<p>単位認定者：スミス アンソニー、小松義隆</p> <p>第7回～9回はゼミ別にて実施する。ゲストスピーカー、学外学修先の都合により、実施順は入れ替わる場合がある。</p> <p>状況によって、遠隔授業になることがある。</p>							
※以下は該当者のみ記載する。								
実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）								



学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-2-EAD-04				
	●	●								
科目名	Essay Writing				単位認定者	石田 陽子 (Aクラス)		授業内課題	80 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	後期	単位数	2 単位	評価の方法	受講態度	20 %
							授業時間数		30 時間	
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	<p>本科目の目的は、英文エッセイの構造を理解し、自ら構成できるライティング力を培うことである。「Grammar &amp; Composition II」で学んだ、パラグラフライティングの構成を再確認し、身近なトピックにとどまらず、提示された課題に対して、自分の意見を論理的に展開することができるようになることを企図する。Introduction、Body、Conclusionを軸に、論理性に矛盾がなく、より説得力のあるエッセイを書くための技法を学ぶ。また、セルフチェック、ピアチェック等を取り入れ、数多くのエッセイライティングを実施する。</p>									
到達目標	<p>1. 辞書を用いて、語彙・表現・文法においてできる限り間違いのない文章を書くことができる。  2. エッセイの構成を理解し、論にずれのないエッセイをまとめることができる。  3. 書き直しを学びの機会と捉え、向上する意欲を持って取り組むことができる。</p>									
学修者への期待等	<p>Writingはノートパソコンを使用する。ノートパソコン、英和・和英辞書を持参すること。(スマートフォンでの検索、翻訳機能では学修することができないため必携)  課題提出締め切りは厳守すること。原則として、課題提出の締め切り延長は行わない。</p>									
回	授業計画				準備学修					
1	授業の進め方・ルール、Grammarly 設定、Prewriting Task.									
2	Writing Process & Prewriting Stage: Brain Storming からMain Ideaへ。ディスカッション。									
3	Paragraph Organization: Topic sentenceとConcluding sentence.									
4	Descriptive Paragraph: your personality.				予習として26、27ページの単語の意味を調べる(概ね20分程度)。					
5	Descriptive Paragraph: revision. 前回の作文を修正する。Self-revisionとPeer review (グループワーク)。									
6	Descriptive Paragraph: final draft. Essay 1 (contrasting essay): two countries, preparation.				指定の期限までに、final draftを提出する(概ね30分程度)。					
7	Essay 1: revision. 前回の作文を修正する。Self-revisionとPeer review. (グループワーク)									
8	Essay 1: final draft Essay 2(reasons and results): health, brainstorming.				指定の期限までに、final draftを提出する(概ね30分程度)。					
9	Essay 2: introduction, body, conclusion. 2 main ideas and supporting sentences.				次回までにfirst draftを仕上げておく(概ね30分程度)。					
10	学修成果の確認 (TOEIC IP受験)				TOEICの問題形式を確認し、必要な準備を行う(概ね1時間程度)。					
11	Essay 2: revision. 前回の作文を修正する。Self-revisionとPeer review (グループワーク)。									
12	Essay 2: final draft. Essay 3 (opinion essay): brainstorming.				指定の期限までに、final draftを提出する(概ね30分程度)。					
13	Essay 3: how to express your opinions with logical and persuasive explanations.				次回までにfirst draftを仕上げておく(概ね30分程度)。					
14	Essay 3: revision. 前回の作文を修正する。Self-revision と Peer review (グループワーク)。									
15	Essay 3: final draft. Free essay writing with STEP materials.				指定の期限までに、final draftを提出する(概ね30分程度)。					
教科書	「モデルで学ぶプロセスライティング入門」柴田美紀 松柏社									
参考文献	授業時に適宜指示する。									
備考	個々の到達度に応じて、ライティング課題を変更する場合がある。状況により、遠隔授業になる可能性がある。									
※以下は該当者のみ記載する。										
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)										

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-2-EAD-07				
		●		●						
科目名	Advanced Reading				単位 認定者	相田 明子		試験 (中間・期末 レポート)	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	2年	開講時期	後期	単位数	2 単位	評価の 方法	プレゼンテーショ ン	20 %
					授業形態		演習		授業回数	15 回
授業の概要	英語圏で書かれた文学作品を通して、文化や文学世界への興味と関心を広めることを目的とする。学生にとって読みやすく馴染みがあると思われる文学作品を数点取り上げ、その作家の生きた時代や社会背景を学ぶ。原典または簡易版を利用して、内容を読解、鑑賞し、意見交換等を行う。それにより、文学作品の読み方や楽しみ方を学ぶ。内容理解の発展として、映像等の翻案作品を鑑賞し、作品の受容について考える。生涯にわたって読書を楽しむ姿勢を養う。									
到達目標	1. 扱う作家と作品についての概要を理解することができる。 2. 作品内容を理解し、自分の感想や意見を持ち表出することができる。 3. 責任を持って課題に取り組み、成果を示すことができる。									
学修者への 期待等	受動的に理解するのではなく、自らの知識と感性で作品に向き合うような学修姿勢を期待する。準備学習に記載の課題を行っていることを前提に授業を進める。プレゼンテーション、中間レポート、最終レポートは単位修得の必須要件であることを理解し、締め切りに遅れることなく提出する。									
回	授業計画				準備学修					
1	授業の進め方・ルールについて 作家Oscar Wildeと作品Happy Princeについて (講義)				予習としてVocabulary Sectionを完成させ、前半部を読解する。(概ね30分程度)					
2	Happy Prince Part 1 (Listening、Reading、What do you think?) 個人ワークとディスカッション				予習としてVocabulary Sectionを完成させ、後半部を読解する。(概ね30分程度)					
3	Happy Prince Part 2 (Listening、Reading、What do you think?)個人ワークとディスカッション				予習として指定された範囲のテキストを読み、語彙の確認、内容を理解する。(概ね40分程度)					
4	Happy Prince_Original Textの読解① 風景描写について				予習として指定された範囲のテキストを読み、語彙の確認、内容を理解する。(概ね40分程度)					
5	Happy Prine_Original Textの読解② 心理描写について				予習として指定された範囲のテキストを読み、語彙の確認、内容を理解する。(概ね40分程度)					
6	Happy Prince_Original Textの読解③ 愛の形について				予習として指定された範囲のテキストを読み、語彙の確認、内容を理解する。(概ね40分程度)					
7	Happy Prince_Original Textの読解④ 時代背景について				予習として指定された範囲のテキストを読み、語彙の確認、内容を理解する。(概ね40分程度)					
8	Happy Prince_Original Textの読解⑤ 他作品との比較 (The Nightingale and the Rose) ディスカッション				中間レポートを期日までに提出する。(概ね120分程度)					
9	Happy Prince プレゼンテーションの準備、効果的なプレゼンテーションについて				時間内に完成しない場合、プレゼンテーションを仕上げる。(概ね60分程度)					
10	Happy Prince プレゼンテーション&ディスカッション				プレゼンテーションのフィードバックをLMSに提出する(概ね30分程度)					
11	Klara and the Sun (Kazuo Ishiguro) 作家: Kazuo Ishiguro について									
12	Klara and the Sun 読解① 近未来小説について				予習として指定された範囲のテキストを読み、語彙の確認、内容を理解する。(概ね40分程度)					
13	Klara and the Sun 読解② Protagonistの視点について				予習として指定された範囲のテキストを読み、語彙の確認、内容を理解する。(概ね40分程度)					
14	Klara and the Sun 読解③ "lifted" / "unlifted" 階層について				予習として指定された範囲のテキストを読み、語彙の確認、内容を理解する。(概ね40分程度)					
15	Klara and the Sun 読解④ 本作のテーマについて (Artificial Friends, Artificial Intelligence)				予習として指定された範囲のテキストを読み、語彙の確認、内容を理解する。(概ね40分程度)					
教科書	使用しない。(ハンドアウト, Xreadingを使用する)									
参考文献	Kazuo Ishiguro, Klara and the Sun. (Faber & Faber, 2021)									
備考	プレゼンテーションは授業内で講評およびLMSにコメント、中間レポートは返却する。状況により遠隔授業になる可能性がある。									
※以下は該当者のみ記載する。										
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)										